

学 力 検 査

国 語

注 意

- 一 指示があるまでは、この冊子を開いてはいけません。
- 二 解答用紙は、この冊子の中に、はさんであります。
- 三 答えは、全て解答用紙に記入しなさい。ただし、の欄には、何も書いてはいけません。
- 四 字数を指示した解答については、句読点、かぎ（「」）なども一字に数えなさい。
- 五 検査問題は七ページで、問題は から まであります。

国語
検査
問題

著作権の関係上、掲載しておりません。

著作権の関係上、掲載しておりません。

「カーテンコールはきみと 幽霊部長の銀河鉄道」(神戸遥真)による。

著作権の関係上、掲載しておりません。

著作権の関係上、掲載しておりません。

「アンドロイドはマンシヨンの夢を見るか？」から石黒浩の文章による。

問一

I

II

のそれぞれに入る最も適切な言葉の組み合わせを、ア～エから選び、符号で書きなさい。

ア (I) 神秘的 II 理想

イ (I) 圧倒的 II 日常

ウ (I) 特徴的 II 現状

エ (I) 人工的 II 本物

問二

家と関わる¹ とあるが、筆者が述べる家についての説明として、最も適切なものを、ア～エから選び、符号で書きなさい。

ア 家は、人間が関わらないと維持できず、人間の体の一部のように扱われることがあるという意味で生きているもの。

イ 家は、人間が手をかけて接しなければならず、あらゆる人から一人の人間として扱われているもの。

ウ 家は、人間が手入れをしなくても問題なく保たれ、人から生きているかのように扱われているもの。

エ 家は、人間が放つておいても住み続けることができ、人間を包み守るために存在しているもの。

問三

人間は街に住まなければならない² とあるが、次の内

の文は、人間と街の関わりについて、本文を踏まえてまとめた一例である。

A

C に入る最も適切な言葉を、それぞれ本文中から抜き出して書きなさい。ただし、字数は

C

にそれぞれ示した字数とする。

自我の異なる存在が、

A(八字) で生きているため、街は

B(十二字) ことがあるが、人間は街の中で生きること、他者

C(七字) させることができる。

との関わりを通して

問四

どのように作ればいいのか³の中から、動詞をそのまま抜き出して書きなさい。また、この場合の活用形を書きなさい。

問五

人は、どこかで自然との関わりを求めている⁴ とあるが、人が自然との関わりを求めるのは、街に住む他者との関わりによってどのようなことを感じる場合に、自然がどのような役割を果たすことがあるからだと筆者は述べているか。三十字以上三十五字以内でまとめて書きなさい。ただし、「人間社会」という言葉を使い、「街に住む他者との関わりによって」という書き出しに続けて書くこと。

四

次の文章は、漢文を書き下し文にしたものである。この文章を読んで、後の問いに答えなさい。

鸚鵡あり、飛びて他山に集る。山中の禽獸輒ちあい貴重す。
(鳥や獸はみな彼を大切にしてくれた)

鸚鵡自ら念ふに樂しと雖も久しかるべからずと。便ち去る。
(楽しいけれども長くいるわけにはいかない)

のち数月にして山中に大火あり。鸚鵡遙かに見、

便ち水に入りて羽を濡らし、飛びてこれに灑ぐ。
(水を振りまいた)

天神言ふ。「汝志意ありと雖も、何ぞ云ふに足らんや」と。
(お前の気持ちはわかるけれども、お前の力ではどうにもなるまい)

対へて曰はく、「救ふ能はざるを知ると雖も、然れども
(私の力でこの山を救えないのはわかっていますが)

嘗てこの山に僑居するに、禽獸善を行ひ、みな兄弟たれば、
(以前に) (泊めてもらった時) (親切にしてくれ) (兄弟同然)

見るに忍びざるのみ」と。天神嘉し感じ、
(黙って見てはられないのです) (鸚鵡の気持ちに感動し)

即ち為に火を滅せり。
(すぐに火を消してくれた)

「異苑」による。

問一 飛びて他山に集る と読むことができるように、「飛集他山」に
返り点を書きなさい。

問二 汝志意ありと雖も、何ぞ云ふに足らんや とあるが、誰が、どのよ
うにしていることに対して天神はどうにもならないと述べているか。
最も適切なものを、ア、イから選び、符号で書きなさい。

ア 禽獸が、鸚鵡を大切にもてなし、長く山にいてもらおうとしてい
ること。

イ 禽獸が、他の山に飛んでいき、山火事から避難しようとしている
こと。

ウ 鸚鵡が、羽を濡らして水を振りまき、山火事を消そうとしている
こと。

エ 鸚鵡が、禽獸との生活を樂しみ、山から離れないようにしている
こと。

問三 天神嘉し感じ とあるが、次の 内の文は、天神が感動
した内容をまとめた一例である。 A B に入る

最も適切な言葉を、それぞれ現代語で書きなさい。ただし、字数は
 A B にそれぞれ示した字数とする。

天神は、鸚鵡の、山の鳥や獸が自分に親切にしてくれて、兄弟同然
の存在だから、たとえ自分では山を A (四字) とわかっていても
 B (十一字) という気持ちに感動した。

五

ある中学校の図書委員会で、「学校図書館の利用者を増やすにはどうするとよいか」というテーマで意見を出し合った。次の 内は、図書委員の意見の一部である。これを読み、後の問いに答えなさい。

鈴木さん 私は図書委員の推薦図書コーナーを図書館内に設置するのがよいと思います。書店に行くとおすすめの本が並べられているコーナーをよく見かけます。また、令和二年度の「学校図書館の現状に関する調査」によると、全国の中学校の図書館の八割以上が推薦図書などを紹介するコーナーを設置しているそうです。こういった取り組みがよく見られるのは、効果が期待できるからではないでしょうか。だから、推薦図書コーナーの設置を提案します。

佐藤さん 図書委員が書評を書いて、それらをまとめて各クラスに掲示するのはどうでしょうか。新聞やウェブサイトを見てみると書評が載っているのをよく見かけます。また、以前私が当番のときに、書評を読んで面白そうだと思った本を借りに来たという生徒を見かけました。図書委員の書いた書評を各クラスに掲示すれば、その書評をきっかけにして本を借りに来る生徒が増えるのではないのでしょうか。だから、書評の掲示を提案します。

問一 次の表は、論点を整理するために鈴木さんと佐藤さんの意見と根拠をまとめた一例である。 に入る適切な言葉を、十五字以上二十字以内で書きなさい。

	鈴木さん	佐藤さん
意見	・ 図書委員の推薦図書コーナーを設置する。	・ 図書委員が書いた書評をまとめたものを掲示する。
根拠	・ 書店におすすめの本のコーナーがある。 ・ 「学校図書館の現状に関する調査」から、八割以上の図書館が推薦図書などを紹介するコーナーを設置している。	・ ・ 書評を読んで面白そうだと思う本を借りに来た生徒がいたように、図書委員の書いた書評が本を借りるきっかけになる。

問二 議論の場で自分の意見を述べるときに、聞き手に自分の考えを理解してもらうためにはどのような工夫をするとよいか。あなたの考えを書きなさい。段落構成は二段落構成とし、第一段落ではあなたの考えを、第二段落ではあなたがそのように考えた理由を書きなさい。ただし、次の《注意》に従うこと。

- 《注意》
- (一) 題名や氏名は書かないこと。
 - (二) 書き出しや段落の初めは一字下げること。
 - (三) 六行以上九行以内で書くこと。